

5 学年 理科 授業計画

教科の目標

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

評価の観点

- ・ 自然事象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。
- ・ 自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的变化をとらえ、問題を解決する。
- ・ 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。
- ・ 生命は子孫に受け継がれて連続していることや、ものの状態は与える条件によって規則的に変化すること、気象現象や流水の働きには規則性があることなどを理解している。

評価の方法

学習態度 発表 ノート テスト

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ 植物の発芽と成長 ○ 天気と気温 ○ 動物のたんじょう メダカのたんじょう ○ 花から実へ ○ わたしたちの気象台	・ 種子の発芽や種子のつくり、養分について調べる。 ・ 1日の気温の変化を調べ、天気によって1日の気温の変化の仕方々に違いがあることをとらえる。 ・ メダカを育て、雌雄の体の形や卵の中のようなすを観察し、魚の卵の中の変化やふ化のようすを調べる。 ・ カボチャの花について観察し、花のつくりの特徴に気づく。 ・ 気象情報を活用して天気の変化を調べ、天気の規則性をとらえる。 ・ 台風の進路や台風による降雨の特徴をとらえて、台風と暮らしとの関わりを考える。
後期	○ てんびんとてこ ○ 流れる水のはたらき ○ もののとけ方 ○ おもりが動くとき おもりをふったとき	・ てこのつり合いの規則性を調べる。 ・ 流れる水には土や石などを削ったり、流したり、積もらせたりする働きがあることを観察する。 ・ ものが水に溶ける量には規則性があることをとらえ、溶けているものを取り出す。 ・ 振り子が1往復する時間は、振り子の長さによって変わることを捉える。